浜松医科大学開学四十周年記念誌

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-12-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 開学四十周年記念誌編集専門委員会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/2800

10. 事務局

総務課

総務課においては，大学の事務に関し，総括し，事務局各課の連絡調整に当たるほか，入学式，学位記授与式及び解剖体慰霊祭等の全学的諸行事，法人の重要事項を審議する役員会，経営協議会，教育研究評議会，教授会等の諸会議を担当している。

また，学則をはじめとする諸規則の制定・改廃及び中期目標・中期計画，年度計画の策定及びそれらに関する報告書の作成事務を担当している。

なお，平成 26 年度には大学機関別認証評価を受審することから，自己評価書の作成に鋭意取り組んでいる。

情報企画室

情報企画室においては事務用電子計算機とそれに付随する財務会計システムや人事給与システムなどの各種システムの調達や運用，維持管理を行っている。

また情報基盤センターと連携して学内情報ネットワークシステムの整備や維持管理，大学のホームページの管理及び運用を行うとともに，学内情報システムのセキュリティ向上と電子計算機上で取り扱われる個人情報保護に務めている。

研究協力課

平成 18 年 7 月，研究活動の支援体制の充実を図るため，総務課内に研究協力室が設置された。

平成 21 年 4 月には事務局部制の廃止とともに，新たに研究協力課が設置された。

現在，科学研究費補助金等の競争的資金の申請，共同研究・受託研究の受入れ及び契約，公正な研究活動の推進，知財活用推進本部と連携しながら知的財産管理等に取り組んでいる。

人事課

人事課は，平成 16 年 4 月 1 日に総務部庶務課を改組し総務課とともに設置された。所掌事務は，職員の任免，分限，懲戒，服務，勤務時間，旅行の命令，給与，研修，健康管理，福祉，災害補償，退職手当，共済組合，職員の兼業，栄典，表彰，卒後臨床研修のカリキュラム及び評価など幅広く担当している。

現在，改正労働契約法への対応，年俸制の導入，メンタルヘルス体制の構築及び研修医の確保・増員などについて取り組んでいる。

会計課

予算の各部局への配分・執行，概算要求，決算・財務諸表の作成，授業料等の収納，給与計算，物品調達，物品管理，外部資金の執行に関する事務処理を行っている。

大学運営に当たり，財源である運営費交付金，自己収入，外部資金を原資に事業計画に基づく予算執行，経営的視野に立ち中期目標の達成に向け努力している。

現在，第 3 期中期目標期間に向けて，大学の有する強みや特色，社会的役割を踏まえた大学の機能強化に取組んでいる。

施設課

施設，整備，保全の企画立案，予算要求。工事の設計積算，工事の入札及び請負契約事務，現場管理，施設の維持管理，安全衛生管理等の事務を行っている。

施設マネージメントをトップマネージメントの一環として捉え，経営的視点に立ち施設整備計画を立案するとともに，所有する施設を効率的に管理し，施設の有効活用に繋げてゆく必要がある。平成 19 年 1 月より開始した病院の再整備を平成 25 年 7 月に完了し，隣接した臨床講義棟，管理棟の改修を進めた。新しい医療技術に対応した改修や老朽化した教育研究施設の整備が今後の課題となっている。

医事課

医事課は，医療事務全般の総括とともに，患者サービス，診療報酬請求，診療費債権管理，診療情報管理，医療相談，医事紛争，医療情報管理等の多岐に亘る病院事務を行っている。

特に法人化後においては，病院再整備計画による新病棟の新築，外来棟の改修が行われた。また，医事業務の委託強化，電子カルテの導入，外来初診予約制の導入など，当課を巡る環境や業務内容は，目まぐるしく変化している。

併せて，今後は医療機関の機能分化・強化等の外部の変化にも，病院として対応していく必要がある。

当課としては，多様化する患者ニーズを把握し，

患者サービスの充実を図るとともに，病院の内外の変化にも対応するため，鋭意努力している。

病院経営支援課

病院予算の適切かつ効率的な運用，病院経営の分析及び調査，病院統計資料，附属病院に係る物品の調達及び役務の契約，物品の管理及び処分，医療材料の定数配置及び供給等に関する事務を行っている。

病院運営にあたり，病院収入の確保，事業計画に基づく予算執行，経営的視野に立った病院運営のあり方等について，鋭意努力している。

なお，増収対策，医療機器等の計画的な更新，先進医療機器の導入，コスト削減に向けたシステムの導入等が今後の課題となっている。

学務課

学部，専攻科及び大学院学生の教育支援，学生生活支援を担当している。

平成 16 年以来，大学院博士課程の改組，助産学専攻科の開設，連合小児発達学研究科への参加，平成 20 年度中央教育審議会答申を踏まえた大幅な履修規程の改正等大学の教育環境に大きな変化があった。

また，グローバル化とともに留学生や学術交流協定校との交流も徐々に拡大しつつある。

医学・医療の高度化が進む中で医学教育は常に進化しており，現在は，医学科の国際基準に対応した教育方法・カリキュラムへの移行，修士課程助産師養成コースの開設等に鋭意取り組んでいるところである。

入試課

入学者選抜制度の変遷に伴い，入学試験事務の充実を図るため，平成 12 年度に学生課から教務部入学主幹として独立した組織となった。平成 16 年度には入学主幹を廃して入試課を設置し，入学者選抜方式の多様化により，年間を通して実施する医学科，看護学科，大学院の入学者選抜に関する総括，連絡調整，入学者選抜試験の実施，入試広報活動等の事務処理を行っている。

学術情報課

主に附属図書館の事務を管轄し，本学学術情報基盤の一角を成す図書館資料（冊子，電子，文献データベース等）の整備と提供の他，他大学等との相互協力による文献取寄せサービス，機関リポジトリを活用した本学紀要『浜松医科大学紀要（一般教育）』等の発行事務等を行っている。

電子形態の図書館資料の増加に伴い，従来とは異なる利用者サービスや統合的な図書館資料活用教育プログラムの提供と充実を目指している。また最近では，学生の学修支援について積極的な貢献が求められている。

医大保育所きらり

「医大保育所きらり」は，子育てを行う職員の職業生活と家庭生活の両立を支援し，福祉の増進と労働環境の向上に資することを目的に，平成 19 年 5 月に開所した。開所後は利用希望者の増加に対応し，平成 22 年に施設の増築を行い，現在，定員 35 名の基本保育を中心として，一時，早朝，延長及び夜間保育を実施している。勤務や疾病等の理由で保育支援が必要な職員にとって，安心してお子さんを預けることができる場所となっている。